

特集

カリキュラムを「拡張」しよう！

看護教育においては、国家試験合格という1つの目標があるため、他の教育に比べて自由なカリキュラム作成の余地が多くありません。若年人口の減少と教育機関の増加という2つの状況から鑑みても、本来であれば、学校、大学の特徴を強く打ち出し、独自のカリキュラムを編成したいところですが、なかなかそうはいかないのが現状でしょう。

そこで、発想転換の勧めです。カリキュラムはある程度固められて、そこに自由裁量の入る余地が少ないのなら、カリキュラム外(extra-curricular)を活用することです。ただ、単純に課外活動を増やせばいいということではありません。卒業単位には含まれない教育的な準正課教育(co-curricular)に教職員が積極的に関与し、カリキュラムを「拡張」ということです。今まで行っていた活動もカリキュラムと結びつけることによって、教育効果を上げ、その教育機関に望ましい学生の成長が期待できるでしょう。

カリキュラム外はカリキュラムと無関係というわけではありません。その点を外しさえしなければ、新たに何かを始めずとも、拡張はできるはずです。